

最初にお読みください

※本商品を設置・設定する前に、必ずご一読ください。

・NTT東日本・NTT西日本より光アクセスサービス（フレッツ光）の提供を受けた事業者様が、お客様に自社サービスと光アクセスサービスを組み合わせて、サービスをご提供するモデルを「光コラボレーションモデル」といいます。また、本モデルによりサービスをご提供する事業者様を「光コラボレーション事業者様」といいます。光コラボレーション事業者様については、以下にて最新の状況を確認いただけます。

NTT 東日本：https://tlets.com/collabo/list/ NTT 西日本：https://tlets-w.com/collabo/list/

・本紙に記載されている「フレッツ光」や「ひかり電話」や「付加サービス（キヤッチホン等）」は、光コラボレーションモデルによりご提供される光アクセスサービス、ひかり電話サービス、付加サービスも含みます。

・光コラボレーション事業者様のご提供するサービスの名称、提供条件等は、直接各光コラボレーション事業者様へお問い合わせください。

・その他、NTT東日本・NTT西日本の提供する個別のサービスの名称、個別の機能名称等は、本紙に記載のとおりです。

本紙内のマーク説明

	警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	お願い	本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
	注意	本商品を取り扱う上での注意事項を示しています。

本紙における本商品の外観図や画面イメージについては、RX-601KI の場合を例に説明しております。RX-601MI も設定手順等は同様です。

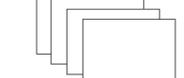
1. セットを確認してください

本体



RX-601KI/RX-601MI (1台)
イラストの形状と異なる場合があります。

付属品

-  ● スタンド (1台)
※ 工事者により取り付け済み場合があります。
-  ● LANケーブル (1本 / 約2m)
※ WAN側ポート接続用として付属しています。
-  ● 壁掛け設置用ネジ (2本)
-  ● 電源アダプタ (1式)
※ 電源コードを電源アダプタに奥まで確実に差し込んでお使いください。
-  ● 取扱説明書 (1部)
 - ・最初にお読みください (本紙)
 - ・ひかり電話の使いかた (別紙)
 - ・安全にお使いいただくために必ずお読みください (別紙)
 - ・故障かな?と思ったら (別紙)

※ セットに足りない物があったり、取扱説明書等に不備があった場合は、「故障かな?と思ったら (別紙)」に記載のお問い合わせ先にご連絡ください。

※ イラストと形状と異なる場合があります。

お客様にご用意いただく物

【ひかり電話のご利用に必要な物】

- 電話機
- ※ 電話機コードもご用意ください。
- 開通のご案内

※ 電話機の電話回線ダイヤル種別は「PB」に設定してご使用ください。電話回線ダイヤル種別が「DP」の場合、通常の発信や通話は問題なく行うことができますが、☎ や ☎ を用いた電話機からの設定やいくつかの付加機能をご利用になれません。

※ ホームテレホンの内線電話機やiSDN 対応電話機等はご利用になれません。

【インターネット接続および設定変更に必要な物】

- 有線LAN接続または無線LAN (Wi-Fi) 接続ができるパソコン等
- ※ 無線LAN (Wi-Fi) 接続の場合は、裏面に記載の「無線LANのご利用について」をご覧ください。
- LANケーブル ※有線LAN接続する場合
- 各サービスに対応したプロバイダとの契約
- ※ PPPoE契約の場合は、設定情報 (ID、パスワード) が必要です。

【パソコンとの無線LAN接続に必要な物】

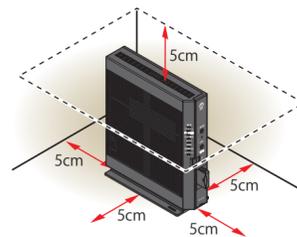
本商品の無線LAN機能を使用するには専用無線LANカードが必要です。

- 専用無線LANカード SC-40NE 「2」
- ※ 本商品の拡張カードスロットに装着して使用します。

2. 設置する

本商品を設置する

本商品は、前後左右5cm、上5cm以内に、パソコンや壁等の物がない場所に設置してください。壁掛けの場合は壁掛け面を除き、上下左右と正面に5cm以上空間を作って設置してください。



注意! 換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因になります。

冷蔵庫やTV等、ノイズ源となる可能性のある機器の近くには設置しないでください。本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

スタンドを付けて縦置きにする

イラストのように、本商品本体に付属のスタンドを付けて縦置きでご使用ください。



注意! 本商品は横置きでの使用はできません。内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

※イラストの形状と異なる場合があります。

警告

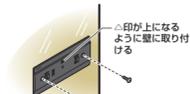
- ・本商品の拡張カードスロットにコイン等の小さな物を置いたり差し込んだりしないでください。拡張カードスロットのカバーが開き、本商品の中に異物が入った場合、火災・感電の原因となります。
- また、拡張カードスロットに指定のカード以外のカードは入れないでください。故障の原因となります。

スタンドを用いて壁掛けにする

■取り付けかた

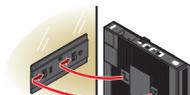
スタンドを使用して壁に取り付けます。あらかじめ、スタンドを本商品に装着して設置方向および設置スペースを確認してからスタンドを取り付けてください。

1 付属のスタンドを底面が壁側になるように、付属の壁掛け設置用ネジで取り付ける



※イラストの形状と異なる場合があります。

2 本商品を横にスライドさせて固定させる



注意! このとき、力かけすぎると本商品および壁が破損する恐れがありますので注意してください。

※イラストの形状と異なる場合があります。

お願い

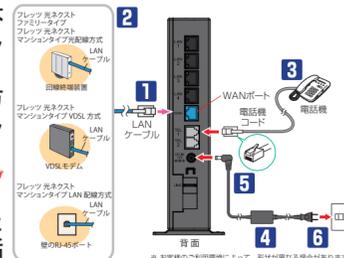
- ・壁掛けの場合、壁掛け面を除く上下左右と正面に空間を作って設置してください。
- ・本商品が落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動等が加わる場所には設置しないでください。
- ・本商品が落下すると危険ですので、ベニヤ板等のやわらかい壁への壁掛け設置は避け、確実に固定できる場所に設置してください。
- ・壁掛け設置されている状態でケーブル等の接続等を行う場合には、落下すると危険ですので必ず本商品本体を手を支えながら行ってください。
- ・無線LANをご利用になるときは、壁に本商品を取り付ける前に専用無線LANカード (SC-40NE 「2」) を装着してください。

3. 接続する

■ WANポートでRJ-45をご使用になる場合

※WANポートとLINEポートを同時にご利用いただくことはできません。

- LANケーブルの一方を本商品のWANポートに差し込む
- LANケーブルのもう一方を右のイラストを確認して差し込む
ご利用のフレッツ 光ネクストのタイプにより、差し込む先は異なります。
- 本商品の電話機ポートと電話機やファクスを電話機コードで接続する
- 電源アダプタと電源コードを接続する
- 本商品に電源アダプタを差し込む
- 電源プラグを電源コンセントに差し込む



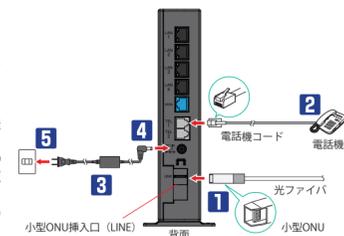
※お客様のご利用環境によって、形状が異なる場合があります。

■ LINEポートで小型ONUをご使用になる場合

※WANポートとLINEポートを同時にご利用いただくことはできません。

- 小型ONU挿入口 (LINE) にあるシャッター (蓋) を開き、小型ONUを接続する

- ※ 小型ONUは、電気通信事業者が提供する小型の光回線終端装置です。
- ※ 小型ONUの接続方法：お取扱方法の詳細は、小型ONUのマニュアル類 (取扱説明書等) をご確認ください。
- ※ 小型ONU以外の装置は接続しないでください。



※お客様のご利用環境によって、形状が異なる場合があります。

(接続例)
・本商品の小型 ONU 挿入口 (LINE) に小型 ONU を接続します。小型 ONU の接続端子が本商品背面左側になるように接続します。

・小型 ONU は本商品の小型 ONU 挿入口 (LINE) に押し込み、抜けやゆるみがないことを確認してください。

・小型 ONU に光ケーブルを接続します。

- 本商品の電話機ポートと電話機やファクスを電話機コードで接続する
- 電源アダプタと電源コードを接続する
- 本商品に電源アダプタを差し込む
- 電源プラグを電源コンセントに差し込む

- ・最新のファームウェアが公開されている場合は、本商品の電源を入れると自動的にバージョンアップを行います。バージョンアップ中は本商品の電源を切らないでください。
- ・ファームウェアのバージョンアップ中は、本商品前面のアラームランプが赤点灯し、初期状態ランプが緑点灯します。

警告

- ・本商品を小型 ONU でご使用になる際、工事者が光ファイバの接続を行う場合は、専門の作業者が行いますのでお客様での接続は不要です。お客様が機器の設置や設定等を行う場合は、「設定ガイド (別紙)」をご覧ください。お客様で光ファイバの接続をお願いします。
- また、故障の原因となる場合がありますので、光ファイバの接続面は不用意にお手を触れないようにお願いします。
- ・付属の電源アダプタおよび電源コード以外を使用しないでください。また、付属の電源アダプタ、電源コードを他の製品に使用しないでください。

4. ひかり電話を使ってみよう!

本商品のひかり電話ランプが緑点灯していることを確認してから、ひかり電話の発信、着信ができるかお試しください。

※ 発信側には通話料がかかります。



以上でひかり電話が使えるようになりました。

注意! ご利用になるには、ひかり電話サービス契約が必要です。なお、ひかり電話の開通日より前に機器を接続した場合、ひかり電話はご利用になれません。

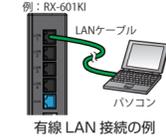
※ その他、ひかり電話に関することは、「ひかり電話の使いかた (別紙)」をご覧ください。

5. インターネットに接続してみよう!

本商品の設定は、Web ブラウザを使って行います。あらかじめ本商品とパソコン等使用する機器の接続をしておきましょう。

※ Webブラウザにてcookieを有効にしてください。無効だと下記の設定ができない場合があります。

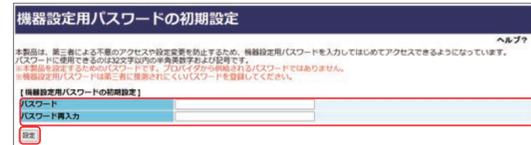
※ ブラウザの対応状況については、以下のWebサイトでご確認ください。



例：RX-601KI
有線LAN接続の例

NTT東日本：https://web116.jp/ced/support/various/index.html
NTT西日本：https://www.ntt-west.co.jp/kiki/support/correspond/index.html

- Webブラウザを起動し、アドレス欄に「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス (工場出荷時は「http://192.168.1.1/」に設定) を入力する
- 画面にしたがって機器設定用パスワードとして任意の文字列を入力し、[設定] をクリックする



パスワードに使用できる文字は、0～9、a～z、A～Z、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) です。半角32文字まで設定できます。

- ・機器設定用パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。
- ・機器設定用パスワードは第三者に推測されにくいパスワードを登録してください。
- ・パスワードはお客様にて厳重に管理してください。忘れた場合は、本商品を初期化し、初めから設定をやり直してください。(裏面)

- ユーザー名に「user」を、パスワードに2で入力した機器設定用パスワードを入力し、[サインイン] または [OK] をクリックする

※ 画面はWindows® 11を使用した表示例です。ご使用のパソコンにより表示が異なる場合があります。

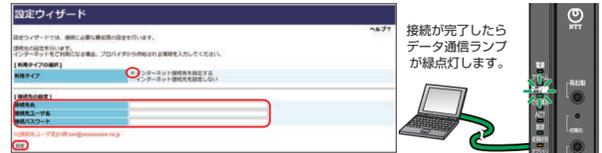
このサイトにアクセスするにはサインインしてください

http://ntt.setup では認証が必要となります
このサイトへの接続は安全ではありません



- プロバイダとのPPPoEの契約があり、下の画面が表示された場合は、「利用タイプ」で「インターネット接続先を設定する」を選択し、プロバイダの設定情報にしたがって接続先ユーザー名、接続パスワードを入力し [設定] をクリックする

※ 接続先名は任意の名前が設定可能です。



すでに機器設定用パスワードやプロバイダ等の設定が済んでいる場合は、上記の1で「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス (工場出荷時は「http://192.168.1.1/」に設定) を入力すると3の画面が表示されますので、「ユーザー名」と「パスワード」を入力してください。

これで本商品に接続されたパソコン等からインターネットに接続できます。Webブラウザを使用してインターネットに接続してみましょう。

- ※ その他、詳細な設定に関することは、「機能詳細ガイド」をご確認ください。(裏面に記載の「機能詳細ガイドについて」をご覧ください。)
- ※ PPPoE以外の方法でインターネットをご利用の場合は「利用タイプ」で「インターネット接続先を設定しない」を選択してください。本商品のデータ通信ランプが青点灯し、インターネット接続が可能になります。データ通信ランプが青点灯するまでには起動から10分程度かかる場合があります。
- ※ インターネット契約がない場合、データ通信ランプは消灯したままとなります。

無線 LAN のご利用について



専用無線LANカード (SC-40NE 「2」) を本商品に差し込むことにより無線LANをご利用になれます。SC-40NE 「2」 の取扱説明書を合わせてご確認ください。(無線LANサービスの契約が必要です。) より詳細な情報は「機能詳細ガイド」をご確認ください。

専用無線 LAN カードの取り付け

本商品の電源アダプタ (電源プラグ) を電源コンセントから抜いた状態で、専用無線LANカード (SC-40NE 「2」) を拡張カードスロットの奥まで装着してください。専用無線LANカード (SC-40NE 「2」) はイラストのとおり、本商品のランプ側を右にして専用無線LANカード (SC-40NE 「2」) のランプが見える方向で装着してください。誤った方向で装着すると本商品や専用無線LANカード (SC-40NE 「2」) が故障する場合があります。

- 1 電源を抜く
※通信・電話が切断されます。
- 2 カードを挿す
- 3 電源を差し込む

※「PWR」ランプと「ACT」ランプは点灯しません。無線LANの動作状況はオプションランプでご確認ください。

- 本商品から無線 LAN カードを取り外す場合は、本商品の電源を切った状態で取り外してください。
- 節電機能動作時は、無線 LAN のご利用ができません。無線 LAN ご利用時は、節電機能を「使用しない」に設定して、ご利用ください。

無線 LAN 端末との接続

本商品と無線LAN端末をWi-Fi接続するには、2つの設定方法があります。無線LAN端末に合わせて選択してください。

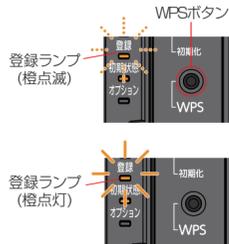
- ① 無線LAN簡単接続機能
- ② SSID・暗号化キーの手動設定



① 無線 LAN 簡単接続機能

■ ゲーム機等と接続する場合

- 1 ゲーム機等の「無線LAN簡単接続機能 (WPS)」を起動する
※ゲーム機等で「WPS」を起動する方法についてはゲーム機の取扱説明書をご確認ください。
- 2 本商品前面の「WPSボタン」を1秒以上押し、本商品前面の登録ランプが橙点滅したら放す
「無線 LAN 簡単接続機能」での設定が開始されると、本商品前面の登録ランプが橙点滅します。
- 3 本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する
設定が完了すると、本商品前面の登録ランプが橙点灯します。



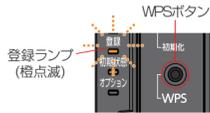
「無線LAN簡単接続機能」での無線LAN設定が完了し、登録ランプは橙点灯した10秒後、緑点灯になります。

- 設定中にアラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。「故障かな?と思ったら (別紙)」をご確認ください。

■ パソコンと接続する場合

Windows® 11の無線LAN設定を例に記載しています。本機能で無線LANの設定が可能ですが、接続を保証するものではありません。他の無線LAN端末のユーティリティやドライバがインストールされていると、無線LAN接続が失敗する場合があります。その場合は、他の無線LAN端末のユーティリティやドライバをアンインストールしてください。

- 1 本商品前面の「WPSボタン」を1秒以上押し、本商品前面の登録ランプが橙点滅したら放す
「無線 LAN 簡単接続機能」での設定が開始されると、本商品前面の登録ランプが橙点滅します。
- 2 お使いのパソコンの、通知領域 (タスクトレイ) もしくは「隠れているインジケータ」の中に表示されているネットワークアイコンをクリックする
- 3 本商品のSSID-1に設定されている無線ネットワーク名 (SSID) をクリックする
※ 本商品の工場出荷状態での無線ネットワーク名 (SSID) は、本商品側面のラベルを確認してください。



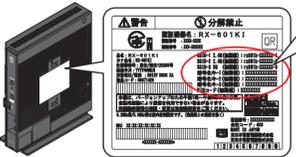
- 4 「自動的に接続」のチェックを入れて、「接続」をクリックする
- 5 本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する
本商品を初期設定でご利用の場合、無線LAN設定が完了し、登録ランプは橙点灯した10秒後、緑点灯になります。本商品の「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY接続拒否)」を「する」に設定変更した場合は、6~9の手順を実施ください。

- 6 「コントロールパネル」を開く
- 7 「ネットワークとインターネット」 - 「ネットワークと共有センター」をクリックする
- 8 3 で選択した無線ネットワーク名 (SSID) を右クリックし、「ワイヤレスのプロパティ」をクリックする
- 9 「接続」タブをクリックし、「ネットワークが名前 (SSID) をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックを入れて、「OK」をクリックする



② SSID・暗号化キーの手動設定

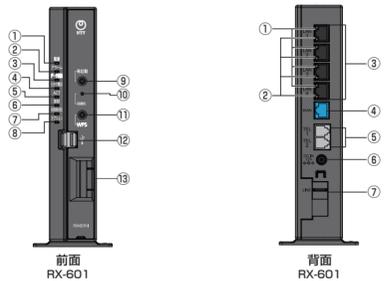
- 1 本商品側面に記載されているSSIDと暗号化キーを確認する
SSID-1 2.4G (初期値):rx601k-XXXXXX-1
SSID-2 2.4G (初期値):rx601k-XXXXXX-2
SSID-3 5G (初期値):rx601k-XXXXXX-3
暗号化キー-1 (初期値):XXXXXXXXXXXX
暗号化キー-2 (初期値):XXXXXXXXXXXX
暗号化キー-3 (初期値):XXXXXXXXXXXX
PINコード (初期値):XXXXXXXX
※SSIDのXXXXXXは、本商品固有の6桁の半角英数字です。
※暗号化キーの初期値は、ランダムに生成した本商品固有の13桁の半角英数字です。



SSID (初期値)	対応無線規格	周波数帯域
SSID-1, 2	IEEE802.11b/11g/11n	2.4GHz
SSID-3	IEEE802.11a/11n/11ac	5GHz

- 2 無線LAN端末にSSIDと暗号化キーを設定する
※ SSID と暗号化キーの設定方法は、お手持ちの無線 LAN 端末の取扱説明書等をご確認ください。

各部の名称



● 前面 (ランプ表示)

ランプの名称	表示 (色)	状態
① 電源ランプ	— 消灯	電源が入っていません。
	緑 点灯	電源が入っています。
② アラームランプ	— 消灯	正常な状態です。
	赤 点灯	装置障害です。*1*3
③ データ通信ランプ	— 消灯	オフライン状態です。
	青 点灯	DS-Lite または MAP-E のインターネットのご利用が可能です。
	緑 点灯	1 セッション接続中です。PPP のインターネットのご利用が可能です。
	橙 点灯	2 セッション以上接続中です。PPP のインターネットのご利用が可能です。
	水色 点灯	DS-Lite と PPP 併用でのインターネットのご利用が可能です。
④ ひかり電話ランプ	— 消灯	ひかり電話が利用できません。
	緑 点灯	ひかり電話が利用できます。
	点滅	ひかり電話が通話中 / 着信中 / 呼び出し中です。
⑤ ACT ランプ	— 消灯	ひかり電話機能 / ルータ機能が利用できません。
	緑 点灯	ひかり電話機能 / ルータ機能が利用できます。
⑥ 登録ランプ	— 消灯	ネットワークから設定情報を取得していません。
	緑 点灯	ネットワークから設定情報を取得済です。
	点滅	ネットワークから設定情報を取得中です。
	赤 点灯	ネットワークからの設定情報取得に失敗しました。(認証エラー)
	点滅	ネットワークからの設定情報取得に失敗しました。(その他エラー)
⑦ 初期状態ランプ	— 消灯	通常の状態です。
	橙 点灯	工場出荷状態 (初期化された状態) です。*1*2
	点滅	IP アドレスが重複しています。*3
⑧ オプションランプ	— 消灯	内蔵無線 LAN が無効な状態です。
	緑 点灯*3	ひかり電話機能 / ルータ機能が利用できません。
	点滅	無線 LAN (5GHz 帯) が動作中です。
	桃 点滅	無線 LAN (2.4GHz 帯) が動作中です。
	青 点滅	無線 LAN (5GHz 帯 / 2.4GHz 帯) が動作中です。
	水色 3回点滅 →2秒点灯	USB ポートに機器が接続 / 切断されました。

[スイッチ等]

名称	機能説明
⑨ 再起動スイッチ	本商品を再起動するために使用するスイッチです。
⑩ 初期化スイッチ	設定を初期化するために使用するスイッチです。
⑪ WPS ボタン	「無線 LAN 簡単接続機能」を起動するためのボタンです。
⑫ USB ポート	USB 機器を接続するためのポートです。
⑬ 拡張カードスロット	専用無線 LAN カード (SC-40NE T2) を装着します。

【無線 LAN 簡単接続機能】実行中のランプ表示

ランプの名称	表示 (色)	状態
登録ランプ	橙 点滅 (10 秒間)	「無線 LAN 簡単接続機能」で設定のため通信中です。
	橙 点灯 (10 秒間)	「無線 LAN 簡単接続機能」での設定が完了しました。橙点灯 10 秒後、緑点灯に変化します。
アラームランプ	赤 点滅 (10 秒間)	「無線 LAN 簡単接続機能」での設定に失敗しました。

● 背面 (ランプ表示)

ランプの名称	表示 (色)	状態
① 100/1000 BASE-T ランプ (4 個)	— 消灯	1Gbps/100 Mbps でデータ送受信ができません。
	橙 点灯	1Gbps/100 Mbps でデータ送受信ができます。
② LINK ランプ (4 個)	— 消灯	LAN が利用できません。
	緑 点灯	LAN が利用できます。
	点滅	LAN でデータ通信中です。

[ポート名等]

名称	表示	機能説明
③ LAN ポート	LAN 1 ~ LAN 4	LAN ケーブルを使用してパソコン等と接続するためのポートです。
④ WAN ポート	WAN	LAN ケーブルを使用して回線終端装置 / VDSL モデム等の LAN ポートと接続するためのポートです。
⑤ 電話機ポート	TEL 1 TEL 2	電話機コードを使用して電話機を接続するためのポートです。(電話機コードは付属していません)
⑥ 電源アダプタ端子	DC IN	付属の電源アダプタのコードを差し込みます。
⑦ 小型 ONU 挿入口 (LINE)	LINE	本商品と接続する小型 ONU を挿入する挿入口です。

- *1 ファームウェアの更新中はアラームランプが赤点灯し、初期状態ランプが橙点灯する場合があります。
- *2 本商品が工場出荷状態 (初期状態ランプ点灯) でも、電源を入れた後、ひかり電話ランプが橙点灯すればひかり電話が利用できます。「[インターネットに接続してみよう!]」の設定を行うと初期状態ランプは消灯します。
- *3 「故障かな?と思ったら (別紙)」をご確認ください。
- *4 本商品に電源を入れた際、全ランプが一斉点灯します。
- *5 節電機能動作時は、アラームランプ、データ通信ランプ、ひかり電話ランプ、登録ランプ、初期状態ランプ、オプションランプが消灯します。節電機能の詳細については、「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の「詳細設定」 - 「高度な設定」 - 「節電機能」をご確認ください。

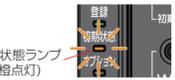
本商品の初期化

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して、工場出荷状態に戻すことをいいます。本商品が正常に動作しない場合や今までとは異なる回線に接続し直す場合、または機器設定用パスワードを忘れたり、IPアドレスを間違えたりして本商品にアクセスできなくなった場合には、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。「Web設定」で初期化することもできます。詳細は、「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の「メンテナンス」 - 「設定値の初期化」をご確認ください。

初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻りますのでご注意ください。ひかり電話に関する設定もすべて消去されます。初期化後、本商品が起動すると、再度ひかり電話の自動設定が行われます。ひかり電話の利用が可能になると登録ランプ、ひかり電話ランプが緑点灯します。ランプ状態を確認してください。ひかり電話の自動設定が完了した状態でも初期状態ランプは橙点灯します。

【設定初期化について】

- 1 本商品の初期化スイッチを押したまま、再起動スイッチを押して放す
初期化スイッチは押し続けてください。本商品前面の全ランプが点灯します。
- 2 本商品前面の初期状態ランプが消灯後、再度橙点灯したら、初期化スイッチを放す
起動後、初期状態ランプが橙点灯したら、初期化は完了です。
※初期化が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。故障の原因となることがあります。
※初期状態ランプが消灯後、再度橙点灯するまで1分程度かかります。



- 本商品に設定する接続先ユーザ名や接続パスワードは重要な個人情報です。情報を盗まれると悪用される可能性がありますので、情報の管理には十分お気をつけください。本商品を返却される場合は、必ず初期化を行い、設定された情報を消去してください。

バージョンアップについて

本商品はファームウェアを常に最新の状態に保つため、最新のファームウェアが提供されると、あらかじめ設定されている時間 (午前1時~午前5時台のいずれか) に自動的にファームウェアの更新を行います。

自動更新時間が「05:00」に設定されている場合は、「05:00~05:59」の間に自動的にファームウェアの更新 (再起動) を行います。再起動中は、ひかり電話、インターネットや映像コンテンツ視聴等の各サービスがご利用になれません。

自動更新の時間を変更したい場合は、「機能詳細ガイド」をご覧の上、設定を変更してください。

- 本商品の機能がバージョンアップされ、取扱説明書等の記載事項に変更・追加が生じた場合、取扱説明書等もバージョンアップされ、NTT 東日本・NTT 西日本 (以下、当社) ホームページに公開されます。最新の取扱説明書が必要となる場合は、当社ホームページよりダウンロードしてください。
- お客様のご利用状況によっては、設定された時間内にファームウェアの更新が行われない場合があります。
- 緊急を要するファームウェアが提供された場合は、ファームウェア更新種別の設定にかかわらず、ファームウェア更新が行われることがあります。本商品が再起動しますので、しばらくお待ちください。

また、ファームウェアを指定して本商品のバージョンアップを行うことができます。バージョンアップファームウェアは、当社ホームページにアップロードしていく予定です。ダウンロード方法等、詳しくは、以下のホームページをご確認ください。

NTT 東日本: <https://web116.jp/ced/support/version/>
NTT 西日本: https://www.ntt-west.co.jp/kiki/download/fl_ets/index.html

機能詳細ガイドについて

「機能詳細ガイド」では、本商品の詳細な機能について説明しています。Webブラウザを起動して、当社ホームページからご確認ください。また、「機能詳細ガイド」は、パソコン等にダウンロードし、オフラインで閲覧することが可能です。必要に応じて当社ホームページにアクセスし、ファイルをダウンロードしてください。※インターネット接続契約が別途必要になります。



「機能詳細ガイド」イメージ (2024年8月現在)

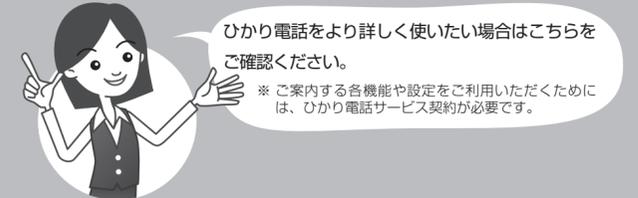
本商品の設定について

本商品の設定を変更するにはお手持ちのパソコンを接続後にWebブラウザを起動して、「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス (工場出荷時は「http://192.168.1.1/」に設定) を入力してください。必要に応じて設定変更してください。設定に関する詳細は「機能詳細ガイド」をご確認ください。



ひかり電話の使いかた

- NTT東日本・NTT西日本より光アクセスサービス（フレッツ光）の提供を受けた事業者様が、お客様に自社サービスと光アクセスサービスを組み合わせて、サービスをご提供するモデルを「光コラボレーションモデル」といいます。また、本モデルによりサービスをご提供する事業者様を「光コラボレーション事業者様」といいます。
- 光コラボレーション事業者様名については、以下にて最新の状況を確認いただけます。
NTT 東日本：https://flets.com/collabo/list/
NTT 西日本：https://flets-w.com/collabo/list/
- 本紙に記載されている「フレッツ光」や「ひかり電話」や「付加サービス（キャッチホン等）」は、光コラボレーションモデルによりご提供される光アクセスサービス、ひかり電話サービス、付加サービスも含まれます。
- 光コラボレーション事業者様のご提供するサービスの名称、提供条件等は、直接各光コラボレーション事業者様へお問い合わせください。
- その他、NTT東日本・NTT西日本の提供する個別のサービスの名称、個別の機能名称等は、本紙に記載のとおりです。



ひかり電話をより詳しく使いたい場合はこちらをご確認ください。

※ ご案内する各機能や設定をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

本紙内のマーク説明

- 🚫 この表示は、本商品を取り扱う上での注意事項を示しています。

ひかり電話で発着信できるサービス

ひかり電話で接続できる番号については、以下のWebサイトでご確認ください。

NTT東日本：https://flets.com/hikaridenwa/use/access.html
NTT西日本：https://flets-w.com/hikaridenwa/ryuuijiku/index.html#setsuzoku

ひかり電話のいろいろな使いかた

内線通話

本商品の他の電話機ポートに接続された電話機、ひかり電話用無線IP端末等、LANポートに接続されたIP端末等呼び出して、通話することができます。

- ① ハンドセットを取りあげ、「ツ〜」という音を確認します。
 - ② 呼び出す電話機等の内線番号（「1～9」、「10～99」の1～2桁）をダイヤルします。
※内線番号は変更できます。詳しくは、「機能詳細ガイド」の「ひかり電話の使いかた」の【電話設定】－【内線設定】をご確認ください。
 - ③ 通話が終わったら、ハンドセットを置きます。
- <初期値>

内線番号	内線設定画面
1～2	アナログ端末
3～7	IP 端末

内線転送

外の相手との電話を本商品の他の電話機ポートに接続された電話機、ひかり電話用無線IP端末等、LANポートに接続されたIP端末等に取りつぎます。

- ① 通話中の外の相手の方に待っていただくように伝え、フッキング^(※1)します。
 - ② 呼び出す電話機等の内線番号（「1～9」、「10～99」の1～2桁）をダイヤルします。
※内線番号は変更できます。詳しくは、「機能詳細ガイド」の「ひかり電話の使いかた」の【電話設定】－【内線設定】をご確認ください。
 - ③ 呼び出された方が応答したら、転送することを伝えます。
 - ④ ハンドセットを置いて転送を実行します。
- <初期値>

内線番号	内線設定画面
1～2	アナログ端末
3～7	IP 端末

- (※1) フッキングとは電話機のフックスイッチを押すことです。1秒以上押し続けると電話が切れることがあります。コードレス電話機や多機能電話機等をお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタン等）を押します。



- 🚫 同時に利用できる内線通話・内線転送はどちらか1通話です。
- 内線番号を押してすぐに発信させたい場合は、番号に続けて「#」（シャープ）を押してください。
- 内線転送で、転送先の方が応答する前に外の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置くと、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話できます。
- ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話をご利用になれません。

発信者番号の通知

発信者番号通知とは、相手先にこちらの電話番号を通知する機能です。発信者情報（番号）を通知するかどうかは相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）をつけて、通知するかしないかを通話ごとに指定できます。

割込音通知

ダブルチャンネル／複数チャンネルでのお話中や、内線通話中に、かかってきた電話に出ることができます。

- 🚫 アナログ端末のみで利用できる機能です。

着信番号の設定

電話機ごとに、着信させる電話番号を個別に設定することができます。複数の電話機に同じ電話番号を設定すれば、一斉に電話機を呼び出すことができます。

着信鳴り分け

内線用と外線用で着信音を変えたい場合や電話番号によって着信音を変えたい場合に着信音を変更することができます。

- 🚫 着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。
- アナログ端末のみで利用できる機能です。

モデムダイヤルイン

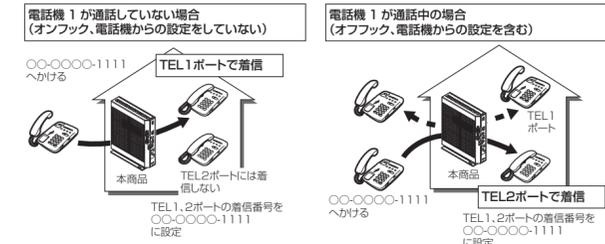
モデムダイヤルイン対応の電話機を接続して、1台の電話機で複数の電話番号を使い分けることができます。

- 🚫 モデムダイヤルイン対応の電話機等が必要です。操作方法は、ご利用になる機器の取扱説明書等をご確認ください。
- アナログ端末のみで利用できる機能です。

優先着信ポート

本商品の2つの電話機ポートにそれぞれアナログ端末を接続している場合、優先して着信する電話機ポートを設定することができます。優先着信ポートをご利用になる場合、IP端末はご利用になれません。

【TEL1ポートを優先着信ポートに設定した場合】

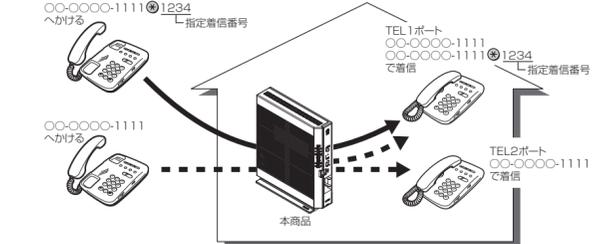


- ※ ダブルチャンネル／複数チャンネルをご利用の場合、TEL1ポートが通話中にかかってきた電話は、TEL2ポートのみ着信します。
- ※ キャッチホンサービスをご利用の場合は、TEL1ポートが通話中であってもTEL2ポートには着信しません。通話中のTEL1ポートにキャッチホンの「ブツッ・・・」という割込音が聞こえます。

- 🚫 優先着信ポートを有効に設定した場合、TEL1、2ポートを無効に設定できません。TEL1、2ポートを無効に設定する場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。
- TEL1、2ポートで同一の着信番号が1つの場合、優先着信ポートと指定着信機能を合わせてご利用になるには、先に指定着信機能の設定を行ってください。指定着信機能の設定では、「指定なし着信」にチェックしてください。
- 優先着信ポートを有効に設定した場合、IP 端末はご利用になれません。IP 端末をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。
- 優先着信ポートを有効に設定した場合、割込音通知はご利用になれません。割込音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。

指定着信機能

相手の方が電話をかけたとき、電話番号に続けて指定着信番号をダイヤルすることにより、特定のアナログポートに接続された端末を呼び出すことができます。



- 🚫 アナログ端末のみで利用できる機能です。
- 詳しくは、「機能詳細ガイド」の「ひかり電話の使いかた」の「ひかり電話のさまざまな使いかた」をご確認ください。
- 指定着信番号で着信した場合には、キャッチホンはご利用になれません。
- マイナンバー／追加番号をご利用の場合でも、指定着信機能をご利用になれる番号は1つだけです。
- 指定着信番号は0～9の任意の数字で、最大19桁となります。
- 指定着信番号が発信可能な電話回線は、ISDN、ひかり電話、携帯電話となります。なお、携帯電話からの指定着信番号発信の可否は、各事業者様により異なります。
- ひかり電話から指定着信番号を発信した場合は、ひかり電話以外の回線やNTT東日本・NTT西日本のひかり電話提供エリア外へ指定着信させることはできません。

ひかり電話の付加サービス

キャッチホン

お話し中でも、かかってきた電話に出ることができます。ご使用になるには事前にキャッチホンのご契約が必要となります。

- 1 お話し中に「ブツッ・・・」という割込音が聞こえる
- 2 相手の方に他から電話がかかってきたことを伝え、フッキング^(※1)する
最初に話していた方との通話は保留されます。
- 3 後からかけてきた方とお話する
最初に話していた方には保留音が流れます。
- 4 通話終了後にハンドセットを置く
着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげて最初に話していた方とお話しをしてください。
※ フッキングでも切り替えができます。

- (※1) フッキングとは電話機のフックスイッチを押すことです。1秒以上押し続けると電話が切れることがあります。コードレス電話機や多機能電話機等をお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタン等）を押します。



キャッチホンサービスおよび通話中の着信について

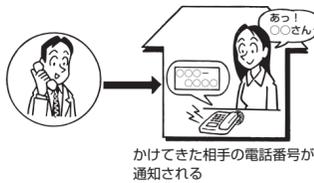
ご契約の有無	着信側	発信側
キャッチホンのご契約がある場合	上記のキャッチホン動作をします。(注1)	呼び出し音が聞こえます。
キャッチホンとダブルチャンネル／複数チャンネルの両方のご契約がある場合	2チャンネルとも通話中のとき、上記のキャッチホン動作をします。(注1) なお、1チャンネルのみ通話中の状態で、新たにかかってきた電話を通話中端末で出たい場合は、割込音通知を「使用する」に設定(※1)してください。(注2)	呼び出し音が聞こえます。(注3)
ダブルチャンネル／複数チャンネルのご契約がある場合	1チャンネルのみ通話中の状態で、新たにかかってきた電話を通話中端末で出たい場合は、割込音通知を「使用する」に設定(※1)してください。(注2)	呼び出し音が聞こえます。(注3)
キャッチホン、ダブルチャンネル／複数チャンネルのご契約がない場合	通話中の通話を継続します。(注4)	お話し中音が聞こえます。(注4)

- (※1) 割込音通知は、電話機から設定できます。
(注1) キャッチホン契約の場合、「割込音通知」設定にかかわらず、キャッチホンの「ブツッ・・・」という割込音が聞こえます。
(注2) 1チャンネルのみ通話中の状態で、新たに電話がかかってきた場合、本商品に接続された別の電話機でも、かかってきた電話に出ることができます。
(注3) 1チャンネルのみ通話中の状態で、新たに電話がかかってきて、本商品に接続された別の電話機で着信しないとき、お話し中の電話機が割込音通知を「使用しない」に設定されていると、発信者側にお話し中音が聞こえます。
(注4) 内線で通話中の場合は、お話し中の電話機が割込音通知を「使用する」に設定されていると、「ブツッ・・・」という割込音が聞こえます。このとき、発信者側には呼び出し音が聞こえます。

- 🚫 キャッチホンをご利用いただくにはキャッチホンのご契約が必要です。
- キャッチホンやダブルチャンネル／複数チャンネルで、先にかかってきた電話とお話し中にかかってきた電話とを切り替えて通話しているときに、一方の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置くと、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話できます。
- ファクス通信中はキャッチホンの動作はしません。ファクス通信中に着信があった場合、発信者側にはお話し中音が聞こえます。
- ダブルチャンネル／複数チャンネルで割込音通知を「使用する」に設定していても、ファクス通信中の電話機には割込音通知は動作しません。別の電話機で着信しない場合、発信者側にはお話し中音が聞こえます。

ナンバー・ディスプレイ

着信があった場合、発信者側の電話番号をナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。ご使用になるには事前にナンバー・ディスプレイのご契約と下記の設定が必要になります。



- 必要な設定
- ①本商品にナンバー・ディスプレイを使用する設定を行います。(※裏面)
※初期値は「使用する」に設定されています。ナンバー・ディスプレイをご契約でない場合やナンバー・ディスプレイに対応していない電話機を接続する場合は「使用しない」に設定してください。
- ②電話機ポートに、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を接続します。
- ③接続した電話機のナンバー・ディスプレイの設定を行います。

- 🚫 ナンバー・ディスプレイの機能をご利用になるには、Dマーク、dマーク、NDマークのついたナンバー・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
- ナンバー・ディスプレイサービスをご利用になる場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。
- 電話機によっては、発信者番号等が正しく表示されないことがあります。
- 電話機の表示内容は、お使いの機器によって異なります。

表面のつづき

キャッチホン・ディスプレイ

お話し中に着信があった場合、発信者の電話番号をキャッチホン・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。

後からかけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。ご使用になるには事前に下記のご契約と設定が必要になります。

	必要なご契約	必要な設定
ナンバー・ディスプレイとキャッチホンを組み合わせてご利用になる場合	ナンバー・ディスプレイ・キャッチホン	ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイを「使用する」に設定する
ナンバー・ディスプレイと割込音通知を組み合わせてご利用になる場合	ナンバー・ディスプレイ・ダブルチャネル/複数チャネル	ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイを「使用する」に設定する・割込音通知を「使用する」に設定する
ナンバー・ディスプレイとキャッチホン、割込音通知を組み合わせてご利用になる場合	ナンバー・ディスプレイ・ダブルチャネル/複数チャネル・キャッチホン	

※ ナンバー・ディスプレイ、割込音通知の初期値は「使用する」に設定されています。キャッチホン・ディスプレイの初期値は「使用しない」に設定されています。

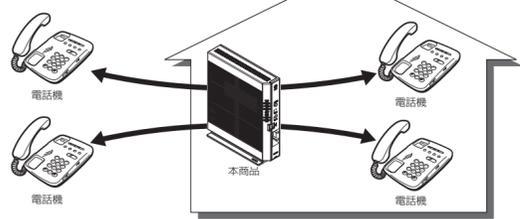
- キャッチホン・ディスプレイの機能をご利用になるには、**LD**マークのついたキャッチホン・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
- キャッチホン・ディスプレイの機能をご利用になるには、ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイの両方を「使用する」に設定してください。ナンバー・ディスプレイが「使用しない」になっているとご利用になれません。

ダブルチャネル/複数チャネル

1台の電話でお話し中の場合でも本商品に接続された別の電話機で通話することができます。

ご使用になるには事前にダブルチャネル/複数チャネルのご契約が必要となります。

※ お話し中の電話機でも、かかってきた電話に出ることができます。「キャッチホンサービスおよび通話中の着信について」(●表面)をご確認ください。

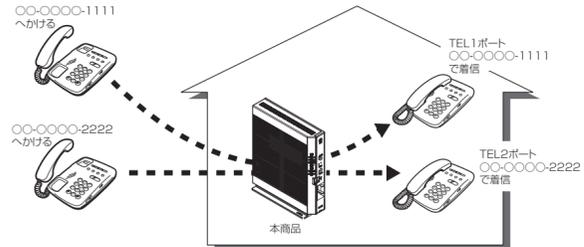


マイナンバー/追加番号

本商品に接続された電話機を別々の電話番号で受けたいとき等、複数の電話番号を持つことができます。

ご使用になるには事前にマイナンバー/追加番号のご契約が必要となります。

※ 鳴り分けには電話機からの設定が必要です。



電話機からひかり電話の設定をする



ひかり電話の設定は電話機ポートに接続した電話機から設定することができます。

※ 無効に設定されている電話機ポートに接続された電話機からは設定できません。

設定例

〈設定例：TEL 1 ポートの電話機を「ナンバー・ディスプレイを使用しない」に設定する〉

1 ハンドセットを取りあげる

「ツーン」という音を確認します。



2 電話機のダイヤルボタンを

「* (* * * * 9 9 9 9 1 * 9 9 1 * * * *) と押す



設定が終了すると、「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 ハンドセットを置く



設定一覧

[ひかり電話共通設定] (* * * * 9 9 9 9 1) ※下線は、初期値です。

機能番号	開始操作	機能番号	設定値・設定内容	終了操作
00	音声優先モード * * * * 9 9 9 9 0	* 0 0 *	①: 使用しない ②: 優先 ③: 最優先	##
01	優先着信ポート ※ 1 ※ 2 * * * * 9 9 9 9 0	* 0 1 *	①: TEL 1 ②: TEL 2 ③: 無効	##
02	アナログポート無効化 ※ 1 ※ 2 * * * * 9 9 9 9 0	* 0 2 *	①: 無効 ②: 有効	##

※ 1. 設定する場合は、「電話機からの設定に関する注意事項」をご確認ください。
※ 2. 優先着信ポートとアナログポート無効化は連続して設定できません。

[内線設定 (アナログ端末)] (* * * * 9 9 9 9)

- 「内線設定 (アナログ端末)」では、TEL 1 ポート、TEL 2 ポートごとに設定が必要です。
TEL 1 ポートの設定→ポート番号①を押す
TEL 2 ポートの設定→ポート番号②を押す

機能番号	開始操作	ポート番号	機能番号	設定値・設定内容	終了操作
91	ナンバー・ディスプレイ * * * * 9 9 9 9 0	① または ②	* 0 1 *	①: 使用する ②: 使用しない	##
92	モデムダイヤルイン * * * * 9 9 9 9 0	① または ②	* 0 2 *	①: 使用する ②: 使用しない	##
93	割込音通知 ※ 1 * * * * 9 9 9 9 0	① または ②	* 0 3 *	①: 使用する ②: 使用しない	##
94	着信番号 ※ 1 * * * * 9 9 9 9 0	① または ②	* 0 4 *	(着信番号)	##
95	指定着信機能 ※ 1 * * * * 9 9 9 9 0	① または ②	* 0 5 *	(指定着信番号)	##
96	キャッチホン・ディスプレイ ※ 2 * * * * 9 9 9 9 0	① または ②	* 0 6 *	①: 使用する ②: 使用しない	##

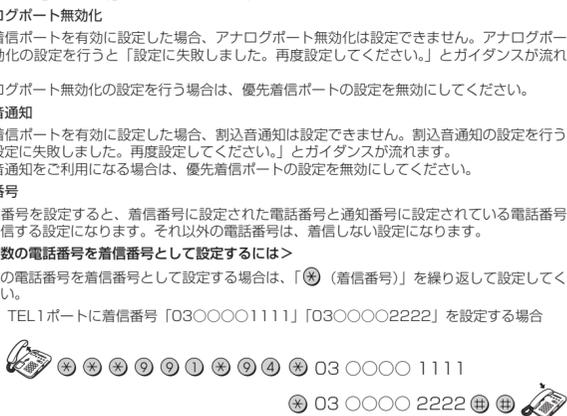
機能番号	開始操作	ポート番号	機能番号	設定値・設定内容	終了操作
97	ダイヤル桁間タイム * * * * 9 9 9 9 0	① または ②	* 0 7 *	④: 4 秒 ⑤: 5 秒 ⑥: 6 秒 ⑦: 7 秒 ⑧: 8 秒	##
98	エコーキャンセラ * * * * 9 9 9 9 0	① または ②	* 0 8 *	①: 使用する ②: 使用しない	##
00	通知番号 ※ 3 * * * * 9 9 9 9 0	① または ②	* 0 0 *	(通知番号)	##
01	内線番号 ※ 4 * * * * 9 9 9 9 0	① または ②	* 0 1 *	(内線番号)	##
02	着信音選択 * * * * 9 9 9 9 0	① または ②	* 0 2 *	①: IR ②: SIR	##

- ※ 1. 設定する場合は、「電話機からの設定に関する注意事項」をご確認ください。
- ※ 2. ナンバー・ディスプレイが「使用する」に設定されている場合に設定できます。
- ※ 3. 通知番号に設定した電話番号は、着信番号に設定されます。
- ※ 4. 内線番号の設定は既存の内線番号には設定できません。(初期値: 1~7)

電話機からの設定に関する注意事項

- 電話機から設定する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。(「PB」にできない電話機からは、設定できません。)電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書をご確認ください。
- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 間違った番号をダイヤルすると、「ビビ、ビビ」とエラー音が聞こえるか、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。いったんハンドセットを置いて、初めから設定をやり直してください。
- 設定を間違えた場合や中止した場合は、設定が無効になります。初めから設定をやり直してください。
- 設定するTELポートが使用中の場合は、いったん使用が終了した後、次の発信着信から設定が有効になります。
- 1台の電話機で設定中に2台目の電話機から設定することはできません。
- 本商品のファームウェアの更新中や、本商品の再起動を行っている場合、他の設定を実行中は、本商品の設定は行えません。
- 電話機からの設定を行うと、ひかり電話の通話や内線通話、着信音(着信中のナンバー・ディスプレイ表示等)、通信が切断される場合があります。
- ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話をご利用になれません。
- ダイヤルボタンを押す間隔が30秒以上あくと、設定が中止されます。
- 優先着信ポート
 - ・優先着信ポートを設定すると、自動的に次のように設定されます。
TEL 1、2ポート : 「有効」に設定されます。
「割込音通知」は「使用しない」に設定されます。
 - ・すべてのIP端末 : 「無効」に設定されます。
 - ・次の場合は「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れ、優先着信ポートの設定ができません。
① TEL 1、2ポートで同じ着信番号が設定されていない場合
② TEL 1、2ポートで同じ着信番号が1つであり、指定着信番号が設定されていて、「指定なし着信」が「無効」に設定されている場合

- アナログポート無効化
優先着信ポートを有効に設定した場合、アナログポート無効化は設定できません。アナログポート無効化の設定を行うと「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れます。
- 割込音通知
優先着信ポートを有効に設定した場合、割込音通知は設定できません。割込音通知の設定を行うと「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れます。割込音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。
- 着信番号
 - ・着信番号を設定すると、着信番号に設定された電話番号と通知番号に設定されている電話番号が着信する設定になります。それ以外の電話番号は、着信しない設定になります。
 - ・複数の電話番号を着信番号として設定するには>
複数の電話番号を着信番号として設定する場合は、「* (着信番号)」を繰り返して設定してください。
(例) TEL 1ポートに着信番号「0300001111」「0300002222」を設定する場合



- ・通知番号に設定されていない着信番号に指定着信番号が設定されている場合、着信番号を設定すると、「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れ、着信番号の設定ができません。
- ・着信番号の設定で着信番号を設定しなかった場合は、通知番号に指定された電話番号以外は着信しない設定になります。
- (例) ダイヤルボタンを (* * * * 9 9 9 9 1 * 9 9 4 * * * *) と押した場合

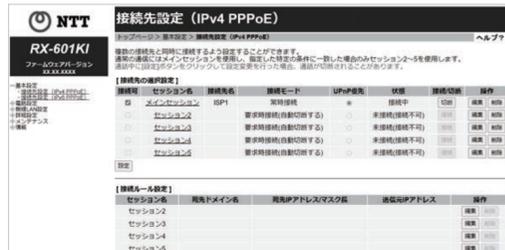
指定着信機能

- 指定着信番号を設定すると、指定着信機能は「使用する」に設定されます。「指定なし着信」は「無効」(指定着信番号なしの着信は着信しない)に設定されます。
- 指定着信番号は、TEL 1、2ポートで1つの番号でのみ使用できます。
- 指定着信番号を設定すると、その前に設定された指定着信番号は無効になります。
- 次の場合は「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れ、指定着信番号の設定ができません。
① TEL 1、2ポートで同じ着信番号が1つであり、優先着信ポートが設定されている場合
② 着信番号に設定していない電話番号に指定着信番号を設定した場合
- 指定着信機能の設定で指定着信番号を設定しなかった場合は、指定着信機能は「使用しない」に設定されます。
- (例) ダイヤルボタンを (* * * * 9 9 9 9 1 * 9 9 5 * (着信番号) * * * *) と押した場合

パソコンからの設定について

本商品の設定変更はパソコンからでも可能です。本商品にお手持ちのパソコンを接続後にWebブラウザを起動して、Webブラウザのアドレス欄に「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス(工場出荷時は「http://192.168.1.1/」に設定)を入力してください。必要に応じて設定変更してください。設定に関する詳細は機能詳細ガイドをご確認ください。

【Web設定画面イメージ】



STOP お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような場所への設置は避けてください。
 - ・ほこりや振動が多い場所
 - ・ 気化した薬品が充滿した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ ラジオやテレビ等のすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
 - ・ 特定無線局や移動通信体のある屋内
 - ・ 盗難防止装置等 2.4GHz 周波数帯域を利用している装置のある屋内
 - ・ 高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機等が近くにある場所
 - ・ 電化製品等、発熱する機器が近くにある場所

- 本商品は、縦置きの場合はスタンドを取り付けて設置してください。また、壁掛け設置をする場合には、付属の壁掛け設置用ネジを使用して、本商品の背面が下になるように固定し設置してください。転倒、落下により、けが、故障の原因となることがあります。

- 本商品を電気製品・AV・OA 機器等の磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所に置かなくてください。(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器等)
 - ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります。(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。)
 - ・ テレビ、ラジオ等に近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・ 放送局や無線局等が近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。

- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオ等をお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。

- 本商品と無線 LAN 端末の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1m 以上離してお使いください。

- 本商品とコードレス電話機や電子レンジ等の電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

- 本商品の隙間から虫が入ると、故障の原因となることがあります。
 - ・ 厨房や台所等に設置するときは、虫が入らないようにご注意ください。

禁止事項

- 動作中（特にデータ設定中）に、再起動スイッチを押したり、ケーブル類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となり、大切なデータを失うことがあります。動作中は、再起動スイッチをむやみに押したり、コネクタの接続部に絶対に触れないでください。

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。本商品にパソコン等の電子機器を非常に多く接続し、通信が集中した場合に、本商品が正常に動作できない場合がありますのでご注意ください。

日頃のお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて行ってください。

- 汚れたら、乾いた柔らかい布でふき取ってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布（よく絞った状態）でふいた後、乾いた布でふき取ってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ただし、コネクタ部分はよく絞った状態でもぬれた布では、絶対にふかないでください。ベンジン、シンナー等の有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。

- 本商品に殺虫剤等の揮発性の物をかけたりしないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープ等を長時間接触させないでください。変形や変色の原因となることがあります。

ご利用前の注意事項

通信に関する注意事項

- お客様宅内での接続環境により、最大通信速度が得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。
- インターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入および情報搾取等の危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコンにファイアウォールのソフトウェアをインストールする等の対応をお願いいたします。

電話機能に関する注意事項

- ひかり電話をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。
- 本商品の電源が入っていない場合は、ひかり電話をご利用いただくことはできません。

- ひかり電話でファクスやアナログモデム通信を行った場合、あるいは音声ガイド等で通話中にプッシュ信号の入力が必要な場合は、通信に失敗することがあります。通信が失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して使用料金がかります。

- ひかり電話や映像コンテンツの視聴等を同時に行い、本商品に負荷がかかった場合に、映像コンテンツの視聴に影響を及ぼす可能性があります。

- お客様のご利用環境によっては、ひかり電話の通話が安定しない可能性があります。

- ひかり電話使用中に本商品の電源が切れた場合、通話が切断されます。また、再起動中、バージョンアップ中は通話ができせん。

- ひかり電話使用中および使用後一定時間は、「無線 LAN 簡単接続機能」での設定が行えない場合があります。ひかり電話使用終了後一定時間たってから設定を行ってください。

- ひかり電話使用中および使用後一定時間は、「Web 設定」等で本商品の再起動を伴う操作は行えない場合があります。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度操作を行ってください。

- 「Web 設定」や「WPS ボタン」からの設定、電話機からの設定、ひかり電話に対応した IP 端末からの自動設定により、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示等）、通信が切断される場合があります。

- 「Web 設定」、電話機からの設定により、ひかり電話に対応した IP 端末やパソコン等の通信が切断される場合があります。設定を変更する場合は、通信を終了してから行ってください。

- 本商品に接続した電話機の ACR 機能・LCR 機能または 0036、0039 等付与機能がオンの場合、ひかり電話が発信できない場合があります。ACR 機能・LCR 機能または 0036、0039 等付与機能をオフにしてご利用ください。（設定方法等はお使いの電話機の取扱説明書をご覧ください。）

- 本商品は、ファームウェアを常に最新の状態に保つため、最新のファームウェアが確認されると、あらかじめ設定された時間帯にあわせて、自動的にファームウェアの更新を行います。ファームウェアの更新機能の詳細については「最初にお読みください（別紙）」をご覧ください。なお、ファームウェアの自動更新について、以下の点にご注意ください。
 - ・ ひかり電話使用中および使用後一定時間は、本商品のファームウェアの更新が行われません。使用後一定時間たってからファームウェアの更新が行われます。
 - ・ ファームウェアの更新中（1 分程度）は、ひかり電話がご利用になれません。緊急通報等もご利用になれませんのでご注意ください。
 - ・ ファームウェアの更新中（1 分程度）は、すべての接続が切断されます。インターネットや映像コンテンツ視聴等の各サービスをご利用中に、ファームウェアの更新が実行される場合がありますので、ご注意ください。
 - ・ ファームウェアの自動更新が実行されると、再起動し、ご利用中のインターネットや映像コンテンツ視聴等の各サービスが中断される場合があります。ファームウェアの更新が終了するまでしばらくお待ちください。

- 本商品に接続する電話機コードは、劣化したもののご使用をお控えください。

お客様情報に関する注意事項

- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を受ける恐れがありますので、データの管理には十分ご注意ください。

- 本商品を返却される場合は、本商品を初期化することにより、本商品内のデータを必ず消去してください。

- 本商品の初期化は、「最初にお読みください（別紙）」に記載された初期化方法の手順にしたがって実施してください。

有線 LAN に関する注意事項

- 最大 1 Gbps（規格値）や最大 100 Mbps（規格値）は、1000BASE-T や 100BASE-TX の有線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）を示すものではありません。

無線 LAN に関する注意事項

- 最大 1733 Mbps（規格値）や最大 600 Mbps（規格値）、最大 300 Mbps（規格値）、最大 54 Mbps（規格値）、最大 11Mbps（規格値）は、IEEE802.11 の無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）を示すものではありません。

- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は、周囲の環境条件（通信距離、障害物・電子レンジ等の電波環境要素、使用するパソコンの性能、ネットワークの使用状況等）により大きく変動します。

- IEEE802.11b、IEEE802.11g および IEEE802.11n を使用する機器が混在している場合は、IEEE802.11n を使用する機器のスループットが著しく下がることがあります。

- IEEE802.11b/g/n 互換 および IEEE802.11ac/n/a 互換 で通信を行うためには、無線 LAN 端末の暗号化を「WPA2-PSK (AES)」もしくは「WPA3-SAE (AES)」、[WPA2-PSK (AES) /WPA3-SAE (AES)、「なし」に設定する必要があります。ただしセキュリティ上、暗号化を「なし」でのご使用は推奨しません。

- IEEE802.11a、IEEE802.11n (5GHz) および IEEE802.11ac を使用する機器が混在している場合は、スループットが著しく下がることがあります。

電波に関するご注意

無線 LAN 製品の電波に関するご注意

本商品（*）は、IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11b および IEEE802.11g 通信利用は 2.4GHz 帯域の電波を使用しています。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される移動体識別用構内無線局および免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生し、何かお困りのことが起きた場合には、「故障かな?と思ったら（別紙）」裏面に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

- 本商品（*）は、IEEE802.11n (5GHz)、IEEE802.11a および IEEE802.11ac 通信利用は 5GHz 帯域の電波を使用しています。5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。

- 本商品（*）は、日本国内でのみ使用できます。

- 次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。

- ・ 強い磁界、静電気、電波障害が発生する場所（電子レンジ付近等）
- ・ 金属製の壁（金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む）の部屋
- ・ 異なる階の部屋どうし

- 本商品（*）と同じ無線周波数帯の無線機器が、本商品の通信可能エリアに存在する場合、転送速度の低下や通信エラーが生じ、正常に通信できない可能性があります。

- 本商品（*）をコードレス電話機やテレビ、ラジオ等をお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。

- 本商品（*）は、技術基準適合認証を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 本商品（*）を分解・改造すること

- 本商品（*）は、他社無線 LAN カードやパソコン内蔵の無線との動作を保証するものではありません。

- IEEE802.11n (5GHz)、IEEE802.11a および IEEE802.11ac で使用するチャンネルは 36、40、44、48ch (W52) と 52、56、60、64ch (W53) と 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch (W56) です。無線 LAN アクセスポイント（親機）としては、従来 IEEE802.11a で使用の 34、38、42、46ch (J52) の装置と IEEE802.11a モードでの通信はできません。

IEEE802.11b/g/n
IEEE802.11a/n/g/e
36/40/44/48/52/56/60/64

- W52 (5.2GHz 帯 /36、40、44、48ch)、W53 (5.3GHz 帯 /52、56、60、64ch)、W56 (5.6GHz 帯 /100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch) が利用できます。

- IEEE802.11n (5GHz)、IEEE802.11a および IEEE802.11ac で接続する無線 LAN 端末（子機）として利用する機器は、以下の表示がある物を推奨します。

- ・ W52 (5.2GHz 帯 /36、40、44、48ch)
- ・ W53 (5.3GHz 帯 /52、56、60、64ch)
- ・ W56 (5.6GHz 帯 /100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)

- W53 (52/56/60/64ch) または W56 (100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch) を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。

- ・ 各チャンネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
- ・ 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャンネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。

- チャンネル帯域設定で「40MHz」または「80MHz」を利用する場合は、同一周波数帯を使用する他の無線局に対して干渉を与える可能性があります。

- ・ チャンネル帯域設定で「40MHz」または「80MHz」を利用する場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前にお確かめください。
- ・ 万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、すぐに「20MHz」に設定を変更してください。

- 本商品（*）は 2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しており、想定干渉距離は 40m です。

本商品（*）に表示した 2.4 DS/OF 4 は、次の内容を示します。

2.4	使用周波数帯域	2.4GHz 帯
DS/OF	変調方式	DS-SS および OFDM 方式
4	想定干渉距離	40m 以下
■■■■■■■■	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であること

※「本商品（*）」はここでは、無線 LAN 機能を利用されている場合を示します。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
 - 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

- 不正に侵入される
 - 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウィルス等を流しデータやシステムを破壊する（破壊）等の行為をさせてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っているので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

ただし、無線 LAN 製品は、購入直後の状態においてセキュリティに関する設定が適切に行われていない場合があります。

したがって、購入した無線 LAN 製品の取扱説明書および本商品の機能詳細ガイドを確認の上、セキュリティに関するすべての設定を行ってください。無線 LAN 製品は、購入直後の状態においてセキュリティに関する設定が適切に行われていない場合があります。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもありえますので、ご理解の上、ご使用ください。

セキュリティの設定等について、ご不明な点があれば、「故障かな?と思ったら（別紙）」に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

当社では、セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

セキュリティ対策を行わず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

過電圧防護

- 本商品の LAN1 ～ LAN4 ポート、および TEL1、TEL2 ポートは、過電圧防護に対応しています。

※ 日本電信電話株式会社が規定する、「通信装置の過電圧耐力に関するテクニカルリクワイアメント（TR189001 号 3.2 版 / 2023 年 6 月 5 日発行）」に対応しています。当該テクニカルリクワイアメントの規定外の過電圧については未対応となります。

NTT

ひかり電話対応ホームゲートウェイ
RX-601KI/RX-601MI

故障かな？と思ったら

NTT東日本・NTT西日本より光アクセスサービス（フレッツ光）の提供を受けた事業者様が、お客様に自社サービスと光アクセスサービスを組み合わせ、サービスをご提供するモデルを「光コラボレーションモデル」といいます。また、本モデルによりサービスをご提供する事業者様を「光コラボレーション事業者様」といいます。光コラボレーション事業者様名については、以下にて最新の状況を確認いただけます。

NTT 東日本：https://fiets.com/collabo/list/ NTT 西日本：https://fiets-w.com/collabo/list/

本紙に記載されている「フレッツ光」や「ひかり電話」や「付加サービス（キャッチホン等）」は、光コラボレーションモデルによりご提供される光アクセスサービス、ひかり電話サービス、付加サービスも含みます。

光コラボレーション事業者様のご提供するサービスの名称、提供条件等は、直接各光コラボレーション事業者様へお問い合わせください。

その他、NTT東日本・NTT西日本の提供する個別のサービスの名称、個別の機能名称等は、本紙に記載のとおりです。

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まず本紙を読んで対処してください。

設置に関するトラブル

本商品のご利用方法に合わせてどこまで設置、設定できているのか現在の症状をご覧の上その原因と対策をご確認ください。

本商品前面の電源ランプが緑点灯していますか？ ↓はい	→いいえ (a 参照)
本商品前面のアラームランプが消灯していますか？ ↓はい	→いいえ (b 参照)
本商品前面の ACT ランプが緑点灯していますか？ ↓はい	→いいえ (c 参照)
本商品前面の登録ランプが緑点灯していますか？ ↓はい	→いいえ (d 参照)
本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯していますか？ *1 ↓はい	→いいえ (e 参照)
ひかり電話が使えますか？ *1 ↓はい	→いいえ (f 参照)
本商品背面の LINK ランプが緑点灯していますか？ ↓はい	→いいえ (g 参照)
パソコンの IP アドレスが設定されていますか？ (IP アドレスの確認方法は、「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の「[Web 設定] の使いかた」をご確認ください。)	→いいえ (h 参照)
Web ブラウザで本商品の「Web 設定」ページが表示されま すか？ ↓はい	→いいえ (i 参照)
設定後、本商品前面のデータ通信ランプが点灯していますか？ ↓はい	→いいえ (j 参照)
インターネットに接続できしましたか？ ↓はい	→いいえ (k 参照)
上記以外の症状が発生していますか？	→はい (l 参照)

*1 ひかり電話をご利用になるためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

a. 本商品前面の電源ランプが緑点灯していない

症状	原因と対策
電源ランプが消灯している	<ul style="list-style-type: none">●電源アダプタ（電源プラグ）が壁等の電源コンセントから外れていないか確認してください。●電源コンセントに他の電気機器を接続して電気がきているか確認してください。●電源アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動した電源コンセントに差し込まれている場合は、壁等の電源コンセントに直接接続してください。（パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます。）●電源アダプタ（電源プラグ）のコードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、お問い合わせ先に修理をご依頼ください。

b. 本商品前面のアラームランプが消灯していない

症状	原因と対策
アラームランプが赤点灯している	<ul style="list-style-type: none">●初期状態ランプも煌点灯している場合は、ファームウェアの更新中です。ファームウェアの更新中は、本商品の電源を切らないでください。●本商品で異常が発生しています。約 15 分間待ってもアラームランプが赤点灯している場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、お問い合わせ先に修理をご依頼ください。

c. 本商品前面の ACT ランプが緑点灯していない

症状	原因と対策
ACT ランプが消灯している	<ul style="list-style-type: none">－WAN ポートで RJ-45 をご使用になる場合－<ul style="list-style-type: none">●本商品と回線終端装置（ONU）、または VDSL モデムの方面に電源が入っていることを確認してください。（直接 RJ-45 モジュラージャックにつないでいる場合は、本商品の電源が入っていることを確認してください。）●LAN ケーブルが本商品の WAN ポートと回線終端装置（ONU）、または VDSL モデム、壁のモジュラージャックの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか、確認してください。－LINE ポートで小型 ONU をご使用になる場合－<ul style="list-style-type: none">●本商品の小型 ONU 挿入口（LINE）に小型 ONU が正しく接続されていることを確認してください。●本商品に異常が発生しています。本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合はお問い合わせ先に修理をご依頼ください。

d. 本商品前面の登録ランプが緑点灯していない

症状	原因と対策
登録ランプが消灯または緑点滅している	<ul style="list-style-type: none">●本商品にネットワークからの設定情報を取得しております。しばらく待って、登録ランプが緑点灯することを確認してください。数回再起動を行うことがあります。電源を抜いたりせず、そのまましばらくお待ちください。●回線開通日前に本商品を接続した場合には、登録ランプが消灯または緑点滅します。
登録ランプが赤点灯している	<ul style="list-style-type: none">－LINE ポートで小型 ONU をご使用になる場合－<ul style="list-style-type: none">●本商品の小型 ONU 挿入口（LINE）に小型 ONU が正しく接続されていることを確認してください。●ネットワーク情報の取得に失敗（認証エラー）しました。お問い合わせ先にご連絡ください。
登録ランプが赤点滅している	<ul style="list-style-type: none">●ネットワーク情報の取得中にエラー（その他のエラー）が発生しました。しばらく待った後で、本商品の電源を入れ直し、登録ランプが緑点灯することを確認してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。改善しない場合は、お問い合わせ先にご連絡ください。●初期状態ランプが煌点滅しているか確認してください。初期状態ランプが煌点滅している場合は、LAN 側 IP アドレス（サブネット）がひかり電話の IP アドレス（サブネット）と重複しています。「[Web 設定] の [詳細設定] - [DHCPv4 サーバ設定] の [LAN 側 IP アドレス] を変更して設定してください。

e. 本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯していない

症状	原因と対策
ひかり電話ランプが消灯している	<ul style="list-style-type: none">－WAN ポートで RJ-45 をご使用になる場合－<ul style="list-style-type: none">●本商品と接続する機器をご確認ください。本商品は WAN ポートに回線終端装置（または VDSL モデム）を直接接続し、LAN ポートにパソコンを接続していただくようお願いいたします。本商品と回線終端装置（または VDSL モデム）の間にハブ（またはルータ等）を接続している場合、ひかり電話を正常にご利用いただく場合があります。 ※複数台のパソコンを利用するためにハブを設置する場合は、ハブを本商品の LAN ポートに接続してご利用ください。－LINE ポートで小型 ONU をご使用になる場合－<ul style="list-style-type: none">●本商品の小型 ONU 挿入口（LINE）に小型 ONU が正しく接続されていることを確認してください。
ひかり電話が使えない	<ul style="list-style-type: none">●本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。改善しない場合は、お問い合わせ先にご連絡ください。

f. ひかり電話が使えない

症状	原因と対策
ひかり電話が使えない	<ul style="list-style-type: none">●本商品背面の電話機ポートと電話機が電話機コードで接続されていることを確認してください。●ひかり電話でかけられない番号があります。「ひかり電話が発着信できるサービス」（＊「ひかり電話の使いかた（別紙）」）をご確認ください。最新の情報については、当社ホームページをご確認ください。●使用する電話機がホームテレホンの内線電話機や ISDN 対応電話機等である場合、または電話機の ACR 機能等が動作している場合はひかり電話が正しくご利用いただけません。●電源を切つてすぐに電源を入れた場合、6 分～ 10 分程度ご利用になれない場合があります。そのまましばらく待ち、改善しない場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。

g. 本商品背面の LINK ランプが緑点灯していない

症状	原因と対策
LINK ランプが消灯している	<ul style="list-style-type: none">●本商品とパソコンの両方に電源が入っていることを確認してください。●LAN ボードまたは LAN カードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。●LAN ケーブルが本商品の LAN ポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。●「[Web 設定] の [詳細設定] - [高度な設定] で [LAN 側 MDI/MDI-X モード] を「自動設定」に設定してください。（初期値は「MDI-X 固定」です。）●「インターネットに接続してみよう！」（＊「最初にお読みください（別紙）」）をご覧の上配線の確認をしてください。また、パソコンが LAN ボードまたは LAN カードを認識しているかを確認してください。●パソコンのネットワーク接続をご利用になる LAN ポートが有効になっていることを確認してください。確認方法はパソコンの取扱説明書等をご確認ください。●1Gbps（1000Mbps）に対応していない LAN ケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。 お客様で LAN ケーブルをご用意いただく場合、LAN ポートで 1Gbps（1000Mbps）の通信をご利用になるときは 1Gbps（1000Mbps）に対応した LAN ケーブルをご用意ください。

h. パソコンの IP アドレスが設定されていない

症状	原因と対策
パソコンの IP アドレスが「192.168.1.xxx」に設定されていない	<ul style="list-style-type: none">●パソコンの設定が「IP アドレスを自動取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。パソコンの IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。<ul style="list-style-type: none">a. ご利用のパソコンの設定手順に基づき、IP アドレスの再取得を実行してください。b. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れてください。起動後、「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の「[Web 設定] の使いかた」をご覧の上再度パソコンの IP アドレスを確認してください。

i. Web ブラウザで本商品の「Web 設定」ページが表示されない

症状	原因と対策
Web ブラウザで、本商品の「Web 設定」ページが表示されない	<ul style="list-style-type: none">●パソコンのネットワークの設定が間違っていないかどうか、「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の「[Web 設定] の使いかた」をご覧の上確認してください。●Web ブラウザや OS の設定で「プロキシサーバーを使用する」になっている場合、本商品の「[Web 設定] ページが表示されないことがあります。（＊「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の「[Web 設定] の使いかた」）●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの「インターネットオプション」の「接続」で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認してください。（＊「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の「[Web 設定] の使いかた」）●本商品の「ポートセ/バレート」を使用するに設定していること、本商品に無線 LAN 接続した端末で「Web 設定」ページを表示できない場合があります。本商品の「ポートセ/バレート」の設定を確認してください。詳細は、「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」の「[無線 LAN 設定] の [IEEE802.11a/g/n/a 設定（5GHz）]、[IEEE802.11b/g/n 設定（2.4GHz）] をご確認ください。●複数固定 IP サービスをご利用の場合、グローバル IP アドレスを割り付けたパソコンから本商品を設定するには Web ブラウザのアドレス欄に「http://mtt.setup/」を入力しても「Web 設定」ページは開きません。Web ブラウザのアドレス欄に「プロバイダから本商品に割り当てられたグローバル IP アドレス（本商品の WAN 側 IP アドレス、例えば http://200.200.200.1/）を入力してください。●ファイアウォール、ウイルスチェック等のソフトウェアが終了されていることをご確認ください。●お客様のご利用環境によっては、Web ブラウザのアドレス欄に「http://mtt.setup/」を入力しても「Web 設定」ページが表示されない場合があります。表示されない場合は、Web ブラウザのアドレス欄に本商品の IP アドレス（工場出荷時は「http://192.168.1.1/」に設定）を入力してください。
Web ブラウザで、本商品の「Web 設定」ページの画面が正常に表示されないまたは操作が正常にできない	<ul style="list-style-type: none">●お使いの Web ブラウザの設定で「JavaScript™」を有効に設定してください。●お使いの Web ブラウザが本商品に対応しているか「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の「[Web 設定] の使いかた」をご覧の上確認してください。

j. 本商品前面のデータ通信ランプが消灯している

症状	原因と対策
データ通信ランプが消灯している	<ul style="list-style-type: none">●「[Web 設定] の [基本設定] - [接続先設定（IPv4 PPPoE）] で、接続したい接続先の「[接続可]」にチェックが入っているかを確認してください。●「[Web 設定] の [基本設定] - [接続先設定（IPv4 PPPoE）] で「接続先名」をクリックし、接続したい接続先（接続先ユーザ名、接続パスワード）を正しく入力されているか確認してください。●「[Web 設定] の [基本設定] - [接続先設定（IPv4 PPPoE）] で「接続先名」をクリックし、「接続方法」を「要求時接続」に設定している場合、パソコンからインターネット接続を開始するまで、データ通信ランプは消灯したままです。無通信時にはデータ通信ランプが消灯しています。●PPPoE ブリッジ機能のみ接続している場合は、データ通信ランプは点灯しません。

k. インターネットに接続できない

症状	原因と対策
インターネット上のホームページが開けない	<ul style="list-style-type: none">●ネームサーバ（DNS サーバ）アドレスが間違っている →自動取得できないプロバイダの場合は、プロバイダから指定されたネームサーバ（DNS サーバ）アドレスをプロバイダからの情報にしたがって「[Web 設定] の [基本設定] - [接続先設定（IPv4 PPPoE）] / [接続先設定（IPv6 PPPoE）] で「サブジョン名」または「[操作] の [編集] / [詳細設定]」をクリックし、DNS サーバアドレスの欄に入力してください。●Web ブラウザや OS の設定で「プロキシサーバーを使用する」になっている場合、ホームページが表示されないことがあります。●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの「インターネットオプション」の「接続」で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認します。（＊「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の「[Web 設定] の使いかた」）●「[Web 設定] の [基本設定] - [接続先設定（IPv4 PPPoE）] で、接続したい接続先の「[接続可]」にチェックが入っているかを確認してください。●「[Web 設定] のトップページで、接続したい接続先の「状態」が「回線接続中」となっていることを確認してください。

l. 上記以外の症状が発生している

症状	原因と対策
上記以外の症状が発生している	<ul style="list-style-type: none">●最新のファームウェアが適用されているか確認してください。（＊「機能詳細ガイド」の「機能詳細説明」の「その他の機能」 - [ファームウェア更新]）●本商品の初期化および再設定を行ってください。改善しない場合は、お問い合わせ先にご連絡ください。

ご利用開始後のトラブル	
症状	原因と対策
インターネットへのアクセスが遅い	<ul style="list-style-type: none">●接続先サーバが混んでいる可能性があります。しばらく時間を置いてからアクセスしてください。●接続先のプロバイダやインターネット上の経路が他の通信で混んでいる可能性があります。しばらく時間を置いてからアクセスしてください。
LAN ポートで通信速度が出ないまたは接続できない	<ul style="list-style-type: none">●1Gbps（1000Mbps）に対応していない LAN ケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。 お客様で LAN ケーブルをご用意いただく場合、LAN ポートで 1Gbps（1000Mbps）の通信をご利用になるときは 1Gbps（1000Mbps）に対応した LAN ケーブルをご用意ください。
使用可能状態において突然 IP アドレスが「192.168.1.xxx」が表示される場合、もう 1 台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンにて、それぞれの設定手順に基づき、IP アドレスの再取得を実行してください。	<ul style="list-style-type: none">●LAN 内に手動で設定している IP アドレスがあるかどうか確認してください。●[OK] をクリックして IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう 1 台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンにて、それぞれの設定手順に基づき、IP アドレスの再取得を実行してください。
オプションランプが緑点灯している	<ul style="list-style-type: none">●内蔵のルータ機能が停止しております。ひかり電話機能、ルータ機能、無線 LAN 機能等のご利用、および「[Web 設定] ページへのアクセスはできません。
前はできたのにインターネット接続ができない	<ul style="list-style-type: none">●本商品の電源を切った後、すぐに電源を入れしないでください。10 秒以上の間隔を空けてから電源を入れてください。パソコンに IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。<ul style="list-style-type: none">a. ご利用のパソコンの設定手順に基づき、IP アドレスの再取得を実行してください。b. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れてください。起動後、「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の「[Web 設定] の使いかた」をご覧の上再度パソコンの IP アドレスを確認してください。
初期状態ランプが煌点滅している	<ul style="list-style-type: none">●LAN 側 IP アドレス（サブネット）がひかり電話の IP アドレス（サブネット）と重複しています。「[Web 設定] の [詳細設定] - [DHCPv4 サーバ設定] の [LAN 側 IP アドレス] を変更して設定してください。
「[Web 設定] の [詳細設定] - [DHCPv4 サーバ設定] の [LAN 側 IP アドレス] 設定変更時に、IP アドレスが重複している」と表示され、設定できない	<ul style="list-style-type: none">●LAN 側 IP アドレス（サブネット）がひかり電話または接続先の IP アドレス（サブネット）と重複しています。「[LAN 側 IP アドレス] を変更して設定してください。
「[Web 設定] の [基本設定] - [接続先設定（IPv4 PPPoE）] で「接続先名」をクリックして、「IP アドレス」の設定を変更するときに、IP アドレスが重複している」と表示され、設定できない	<ul style="list-style-type: none">●LAN の IP アドレスと重複している」と表示されている場合、接続先の IP アドレス（サブネット）が LAN の IP アドレス（サブネット）と重複しています。「[Web 設定] の [詳細設定] - [DHCPv4 サーバ設定] の [LAN 側 IP アドレス] を変更して設定してください。●ひかり電話または接続先の IP アドレスと重複している」と表示されている場合、接続先の IP アドレス（サブネット）がひかり電話または他の接続先の IP アドレス（サブネット）と重複しています。接続先 IP アドレス管理者にお問い合わせの上「[Web 設定] の [基本設定] - [接続先設定（IPv4 PPPoE）] で「接続先名」をクリックして、IP アドレスを変更して設定してください。
「[Web 設定] の トップページに IP アドレスが重複している」と表示される	<ul style="list-style-type: none">●「[Web 設定] の [基本設定] - [接続先設定（IPv4 PPPoE）] の「状態」に、LAN の IP アドレスと重複している」と表示されている場合、LAN の IP アドレス（サブネット）がひかり電話または接続先の IP アドレス（サブネット）と重複しています。「[Web 設定] の [詳細設定] - [DHCPv4 サーバ設定] の [LAN 側 IP アドレス] を変更して設定してください。●「[Web 設定] の [基本設定] - [接続先設定（IPv4 PPPoE）] の「状態」に、ひかり電話または他の接続先の IP アドレスと重複している」と表示されている場合、接続先の IP アドレス（サブネット）がひかり電話または他の接続先の IP アドレス（サブネット）と重複しています。接続先 IP アドレス管理者にお問い合わせの上「[Web 設定] の [基本設定] - [接続先設定（IPv4 PPPoE）] で「接続先名」をクリックして、重複している接続先の IP アドレスを変更して設定してください。
ハンドセットを取りあげると「ピーピーピー」と音がする	<ul style="list-style-type: none">●最新のファームウェアがあることを通知しています（正常動作）。「    」とダイヤルしてファームウェアの更新を行ってください。
ハンドセットを置いた後すぐに着信音が鳴る	<ul style="list-style-type: none">●内線転送で、転送先の方が応答する前に外の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置いた場合は、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話できます。●キャッチホンサービスやダブルチャネル/複数チャネルで、先にかかった電話とお話中にかかった電話を切り替えて通話しているときに、一方の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置いた場合は、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話できます。
ひかり電話の音声品質が安定しない	<ul style="list-style-type: none">●「[Web 設定] の「[電話設定] - [ひかり電話共通設定] の「[音声優先モード] を「優先」または「最優先」に設定します。
優先着信ポートと指定着信機能を同時に利用する設定ができない	<ul style="list-style-type: none">●TEL1、2 ポートで同一の着信番号が 1 つの場合、指定着信機能の設定を行うことから、優先着信ポートの設定を行ってください。設定方法は「電話機からひかり電話の設定をする」（＊「ひかり電話の使いかた（別紙）」）をご確認ください。
停電復旧後、ひかり電話が利用できない	<ul style="list-style-type: none">●本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯しているか確認してください。ひかり電話ランプが消灯、登録ランプが赤点滅している場合は、ひかり電話がご利用になれませんので、電源を入れ直してください。ひかり電話の設定が完了すると、本商品前面のひかり電話ランプ、登録ランプが緑点灯します。
電話機からの設定がエラーとなる	<ul style="list-style-type: none">●本商品のファームウェアの更新中や、本商品の再起動が行っている場合、他の設定を実行中は、本商品の設定は行えません。●設定値によっては電話機からの設定がエラーとなる場合があります。詳しくは、「電話機からひかり電話の設定をする」（＊「ひかり電話の使いかた（別紙）」）をご確認ください。
発信時、設定した通知番号が相手先に通知されない	<ul style="list-style-type: none">●本商品に接続する IP 端末によっては、本商品の「[通知番号]」の設定にかかわらず、IP 端末で「[通知番号]」に設定した電話番号が相手先に通知されることがあります。IP 端末の機能および「[通知番号]」の設定方法は、IP 端末の取扱説明書等をご確認ください。
ファームウェアの更新ができない	<ul style="list-style-type: none">●ひかり電話使用中および使用後一定時間は、本商品へのバージョンアップを行うことができない場合があります。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間がたつたら、再度ファームウェアの更新を行ってください。●本商品のファームウェアの更新中や、本商品の再起動を行っている場合は、本商品へのバージョンアップ操作は行えません。
ファームウェア更新が突然実行される	<ul style="list-style-type: none">●ネットワーク上の当社のサーバからの緊急のバージョンアップを要するファームウェアが提供された場合「ファームウェア更新種別」の設定にかかわらず、強制的に最新のファームウェアへの更新を行います。電源を抜いたりせず、そのまましばらく待ってください。
アラームランプが赤点灯している	<ul style="list-style-type: none">●初期状態ランプも煌点灯している場合は、ファームウェアの更新中です。ファームウェアの更新中は、本商品の電源を切らないでください。●本商品で異常が発生しています。約 15 分間待ってもアラームランプが赤点灯している場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、お問い合わせ先に修理をご依頼ください。
アラームランプが赤点滅している	<ul style="list-style-type: none">●「無線 LAN 簡単接続機能」に失敗しています。「[無線 LAN 簡単接続機能] が成功しない」をご確認ください。
突然、再起動した	<ul style="list-style-type: none">●抜いたりせず、そのまましばらく待ってください。

©2024 NTT EAST ・ NTT WEST
本3563-1 (2024.8)

症状	原因と対策
無線 LAN 通信ができない	<ul style="list-style-type: none">●[Web 設定] の [無線 LAN 設定] - [IEEE802.11ac/n/a (5GHz) 設定]、[IEEE802.11b/g/n (2.4GHz) 設定] で本商品と接続する無線 LAN 端末の使用チャネルが一致していることを確認してください。使用する無線 LAN 端末によっては、12ch、13ch は使用できない場合があります。自動設定でつながらない場合は無線 LAN 端末の設定を確認して、使用チャネルの設定を変更してください。 ●MAC アドレスフィルタリングが「使用する」になっている <ul style="list-style-type: none">→本商品の MAC アドレスフィルタリングが「使用する」となっている場合、無線 LAN 端末の MAC アドレスを MAC アドレスエントリに登録する必要があります。(●「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」の [無線 LAN 設定] - [MAC アドレスフィルタリング] - [接続を許可する無線 LAN 端末の MAC アドレスエントリ]) ●本商品に [IEEE802.11n または IEEE802.11ac 方式対応の無線 LAN 端末を接続する際、無線 LAN 端末の暗号化方式を [WPA2-PSK (AES)]、[WPA3-SAE (AES)]、または [WPA2-PSK (AES) /WPA3-SAE (AES)] に変更して使用してください。無線 LAN 端末の暗号化方式を WPA-PSK (TKIP) に設定していると接続できない場合があります。 ●節電機能が動作している場合は、無線 LAN 機能がご利用になれません。無線 LAN ご利用時は、節電機能を「使用しない」に設定してご利用ください。(●「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」- [高度な設定] - [節電機能]) ●[Web 設定] の [無線 LAN 設定] - [無線 LAN 共通設定] で無線 LAN の利用状況をご確認ください。 ●本商品の拡張カードスロットに専用無線 LAN カード (SC-40NE [2]) が正しく取り付けられていない <ul style="list-style-type: none">→「無線 LAN のご利用について」(●「最初にお読みください (別紙)」) をご覧の上確認してください。
「無線 LAN 簡単接続機能」が成功しない	<ul style="list-style-type: none">●本商品の拡張カードスロットに専用無線 LAN カード (SC-40NE [2]) が正しく取り付けられていない <ul style="list-style-type: none">→「無線 LAN のご利用について」(●「最初にお読みください (別紙)」) をご覧の上確認してください。 ●MAC アドレスフィルタリングのすべてのエントリが登録済みになっている <ul style="list-style-type: none">→本商品の MAC アドレスフィルタリングのすべてのエントリが登録済みになっていると「無線 LAN 簡単接続機能」の設定ができません。「Web 設定」の [無線 LAN 設定] - [MAC アドレスフィルタリング] で本商品の MAC アドレスフィルタリングの設定を確認してください。 ●本商品と無線 LAN 端末で使用可能な暗号化方式や暗号化強度が一致していない <ul style="list-style-type: none">→無線 LAN 端末の取扱説明書等で使用可能な暗号化方式や暗号化強度を確認し、本商品に設定してください。 ●本商品に他の設定を行っている <ul style="list-style-type: none">→本商品の設定中は「無線 LAN 簡単接続機能」での設定は行えませんが、他の設定が終了してから行ってください。 ●ひかり電話使用中および使用後一定時間内に設定を行っている <ul style="list-style-type: none">→ひかり電話使用中および使用後一定時間は、「無線 LAN 簡単接続機能」での設定は行えない場合があります。ひかり電話使用後一定時間たってから行ってください。 ●登録ランプが緑点灯していない <ul style="list-style-type: none">→登録ランプが緑点灯していない場合は、「無線 LAN 簡単接続機能」での設定は行えません。「設置に関するトラブル」(●「本紙表面」) をご確認ください。設定中の「無線 LAN 簡単接続機能」が完了していない場合は、登録ランプが緑点灯してから設定を行ってください。 ●2 台以上のパソコンで無線 LAN 簡単接続機能を起動している <ul style="list-style-type: none">→2 台以上のパソコンで無線 LAN 簡単接続機能を起動している場合は、「無線 LAN 簡単接続機能」の設定に失敗します。1 台ずつ設定を行ってください。 ●Windows® 搭載の無線 LAN 内蔵/パソコンが接続できない <ul style="list-style-type: none">→本商品の「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)」を「しない」に設定する (●「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」の [無線 LAN 設定] - [IEEE802.11ac/n/a 設定 (5GHz)]、[IEEE802.11b/g/n 設定 (2.4GHz)]、またはパソコンで、「ネットワークが名前 (SSID) をブロードキャストしていない場合でも接続する」の設定 (●「最初にお読みください (別紙)」) を行ってください。 ●本商品の SSID 設定 (SSID-1) にて、無線の暗号化が「なし」に設定されている <ul style="list-style-type: none">→本商品の SSID 設定 (SSID-1) の無線の暗号化が「なし」に設定されている状態で、「無線 LAN 簡単接続機能」を実行すると設定に失敗します。無線の暗号化が「なし」で設定に失敗した場合、本商品の SSID 設定 (SSID-1) の無線の暗号化を自動的に [WPA2-PSK (AES)] に設定する機能があります。アラームランプが消灯してから、もう一度、「無線 LAN 簡単接続機能」を実行してください。 ●本商品の SSID 設定 (SSID-1 または SSID-3) にて、無線の暗号化が [WPA-PSK (TKIP) /WPA2-PSK (AES)]、[WPA2-PSK (AES) /WPA3-SAE (AES)] または [WPA3-SAE (AES)] に設定されている <ul style="list-style-type: none">→本商品の SSID 設定 (SSID-1 または SSID-3) の無線の暗号化が [WPA-PSK (TKIP) /WPA2-PSK (AES)]、[WPA2-PSK (AES) /WPA3-SAE (AES)] または [WPA3-SAE (AES)] に設定されている状態で、「無線 LAN 簡単接続機能」を実行すると設定に失敗します。本商品の SSID 設定 (SSID-1 または SSID-3) の無線の暗号化を [WPA2-PSK (AES)] に設定してください。 ●インターネットに接続できていない <ul style="list-style-type: none">→本商品前面のデータ通信ランプが消灯している場合は、インターネットに接続できません。「無線 LAN 簡単接続機能」で無線 LAN 設定後、ゲーム機からのインターネット接続の確認に失敗する場合は、「設置に関するトラブル」(●「本紙表面」) をご覧の上、本商品の接続や設定を確認してください。
他の対策を実施しても、改善が見られない	<ul style="list-style-type: none">●「再起動スイッチ」を押して、本商品を再起動してください。

仕様一覧

ハードウェア仕様			
項目	仕様		
WAN ポート	規格	1000BASE-T / 100BASE-TX (IEEE802.3ab / IEEE802.3u) オートネゴシエーション	
	コネクタ形状	8ピンモジュラージャック (RJ-45)	
LINE ポート (小型 ONU 挿入口 (LINE))	ポート数	1 ポート	
	インタフェース	小型 ONU 専用ポート (SFF-8431 Rev4.1、SFF-8432 Rev5.1、SFF-8472 Rev11.3 準拠)	
LAN ポート	コネクタ形状	SFP+	
	ポート数	1 ポート	
拡張カードスロット	規格	1000BASE-T / 100BASE-TX (IEEE802.3ab / IEEE802.3u) オートネゴシエーション	
	コネクタ形状	8ピンモジュラージャック (RJ-45)	
拡張カードスロット	ポート数	4 ポート (スイッチングハブ内蔵)	
	インタフェース	ExpressCard/34 (PCI Express) 準拠 ※オプションの専用無線 LAN カード SC-40NE [2] 装着用	
電話機ポート	スロット数	1 スロット	
	コネクタ形状	6ピンモジュラージャック (RJ-11)	
USB ポート	ポート数	2 ポート	
	供給電圧	約−48V (無負荷時)	
USB ポート	コネクタ形状	タイプ A コネクタ	
	規格	USB2.0	
USB ポート	ポート数	2 ポート	
	電源ランプ	電源通電時	緑点灯
ランプ表示 ^{＊1}	アラームランプ	装置障害時	赤点灯
		「無線 LAN 簡単接続機能」設定失敗時	赤点滅 10 秒間
		USB ポートの異常検出時	赤点滅 10 秒間
	データ通信ランプ	DS-Lite または MAP-E のインターネットご利用可能	青点灯
		PPP 1 セッション接続中のインターネットご利用可能	緑点灯
		PPP 2 セッション以上接続中のインターネットご利用可能	橙点灯
		DS-Lite と PPP 併用でのインターネットご利用可能	水色点灯
	ひかり電話ランプ	ひかり電話利用可能時	緑点灯
		ひかり電話通話中 / 着信中 / 呼び出し中	緑点滅
	ACT ランプ	WAN 回線利用可能時	緑点灯
	WAN 回線でデータ通信中	緑点滅	
登録ランプ	ネットワークから設定情報を取得完了時	緑点灯	
	ネットワークから設定情報を取得中	緑点滅	
	ネットワークからの設定情報取得失敗時	赤点灯 / 赤点滅	
初期状態ランプ	工場出荷状態	橙点灯	
	IP アドレス重複時	橙点滅	
オプションランプ	USB 機器接続 / 切断時	水色点滅 (3 回点滅後、2 秒点灯)	
操作部	再起動	再起動用スイッチ	
	WPS	「無線 LAN 簡単接続機能」起動ボタン	
	初期化	設定初期化用スイッチ	
	筐体外観	縦置き壁掛け両用型	
	動作環境	温度：0～40℃ 湿度：20～80% (結露しないこと)	
外形寸法	約 45 (W) × 195 (D) × 222 (H) mm 以下 (突起部、スタンドを除く)		
電源	AC100V ± 10V 50/60Hz		
消費電力	最大 35W 以下 ^{＊2} (電源アダプタ含む) 小型 ONU を含む消費電力です。		
質量	約 0.8kg 以下 (電源アダプタ、無線 LAN カード、小型 ONU を含まず)		
電磁妨害波規格	VCCI クラス B		

^{*} 1 節電機能動作時には、ランプ表示が異なります。

^{*} 2 お使いの商品の定格値は、本商品側面に記載されているラベル内の定格電流 / 電圧の値をご確認ください。

ソフトウェア仕様		
項目	仕様	
ルータ機能	WAN プロトコル	PPPoE (PPP over Ethernet)、iPoE (iP over Ethernet)
	PPP 認証	自動認証 (CHAP/PAP) / CHAP 固定 / PAP 固定
	PPP 接続 / 切断	常時接続 (自動接続) / 要求時接続 (無通信時切断)
	接続先数	IPv4セッション 登録：5 箇所、同時接続：5 箇所 IPv6セッション 登録：1 箇所、同時接続：1 箇所
	ルーティング方式	スタティックルーティング (約 40 経路)
	DHCP サーバ機能	あり (最大 253 アドレス割当)
	Proxy DNS 機能	あり (LAN 側 DNS サーバ指定可)
	NAT 機能	IP マスカレード：最大 4096 セッション、静的 NAT：最大 64 アドレス
	静的 IP マスカレード機能	あり (ポート番号の範囲指定可)
	ユニバーサルプラグアンドプレイ (UPnP) 機能	あり
DMZ ホスト機能	あり (LAN 側 IP アドレス指定による)	
複数固定 IP サービス対応機能	あり	
パケットフィルタ機能	フィルタ種別、送信元 IP アドレス、宛先 IP アドレス、プロトコル種別、送信元ポート、宛先ポート、方向指定可能	
セキュリティ保護機能	不正アクセス拒否機能 (LAND 攻撃、smurf 攻撃、IP Spoofing 攻撃)、不正アクセス検出機能 (LAND 攻撃、smurf 攻撃、IP Spoofing 攻撃)	
ブリッジ機能	IPv6 ブリッジ機能	あり (NGN-RA モード時、または NW マイグレモード時)
	PPPoE ブリッジ機能	あり (PPPoE ブリッジ設定時、かつ PPPoE 接続設定なしの時)
	接続手順	SNIP
VoIP 機能	音声 CODEC	ITU-T G.711 μ-law
	エコーキャンセラ	ITU-T G.168
設定・保守機能	設定方法	Web ブラウザ、電話機による設定・保守
	状態表示機能	回線状態、WAN 側 IP アドレス、バージョン情報他
	ログ機能	あり
	設定値の保存・復元機能	ファイルに保存、ファイルからの復元
	ルータ機能のソフトウェアバージョンアップ機能	Web ブラウザを使用、電話機を使用、自動更新

無線 LAN 仕様		
IEEE802.11a	周波数帯域 / チャンネル	(W52) 5.2GHz 帯 (5150～5250MHz) / 36、40、44、48ch (W53) 5.3GHz 帯 (5250～5350MHz) / 52、56、60、64ch (W56) 5.6GHz 帯 (5470～5725MHz) / 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch
	伝送方法	OFDM (直交周波数分割多重) 方式
	伝送速度 ^{＊1}	最大 54Mbps (自動切換)
IEEE802.11n (5GHz 帯)	周波数帯域 / チャンネル	(W52) 5.2GHz 帯 (5150～5250MHz) / 36、40、44、48ch (W53) 5.3GHz 帯 (5250～5350MHz) / 52、56、60、64ch (W56) 5.6GHz 帯 (5470～5725MHz) / 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch
	伝送方法	OFDM (直交周波数分割多重) 方式
	伝送速度 ^{＊1}	最大 600Mbps (帯域幅 40MHz の場合) (自動切換)
IEEE802.11ac	周波数帯域 / チャンネル	(W52) 5.2GHz 帯 (5150～5250MHz) / 36、40、44、48ch (W53) 5.3GHz 帯 (5250～5350MHz) / 52、56、60、64ch (W56) 5.6GHz 帯 (5470～5725MHz) / 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch
	伝送方法	OFDM (直交周波数分割多重) 方式
	伝送速度 ^{＊1}	最大 1733Mbps (帯域幅 80MHz の場合) (自動切換)
IEEE802.11b	周波数帯域 / チャンネル	2.4GHz 帯 (2400～2484MHz) / 1～13ch
	伝送方法	DS-SS (スペクトラム直接拡散) 方式
	伝送速度 ^{＊1}	最大 11Mbps (自動切換)
IEEE802.11g	周波数帯域 / チャンネル	2.4GHz 帯 (2400～2484MHz) / 1～13ch
	伝送方法	OFDM (直交周波数分割多重) 方式
	伝送速度 ^{＊1}	最大 54Mbps (自動切換)
IEEE802.11n (2.4GHz 帯)	周波数帯域 / チャンネル	2.4GHz 帯 (2400～2484MHz) / 1～13ch
	伝送方法	OFDM (直交周波数分割多重) 方式
	伝送速度 ^{＊1}	最大 300Mbps (帯域幅 40MHz の場合) (自動切換)
アンテナ (5GHz 帯)	ダイバーシティ方式 / 送信 4 × 受信 4 MIMO (内蔵)	
アンテナ (2.4GHz 帯)	ダイバーシティ方式 / 送信 2 × 受信 2 MIMO (内蔵)	
セキュリティ	[WPA2-PSK (AES)]、[WPA-PSK (TKIP) /WPA2-PSK (AES)]、[WPA3-SAE (AES)]、[WPA2-PSK (AES) /WPA3-SAE (AES)]、無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)、MAC アドレスフィルタリング、ポートセ/レアウト	

^{*} 1 無線 LAN の規格値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Oracle と JavaScript は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。Wi-Fi、Wi-Fi Alliance、WPA、WPA2 および WPA3 は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。その他、各会社名、各製品名およびサービス名等は各社の商標または登録商標です。

お問い合わせ先

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービス等を提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：
[NTT東日本] https://web116.jp/ced/
[NTT西日本] https://www.ntt-west.co.jp/kiki/

- 本商品のお取り扱いおよび故障に関するお問い合わせ
- NTT東日本エリア (北海道、東北、関東、甲信越地区) でご利用のお客様
 - ・NTT 東日本の提供する「フレッツ光」をご利用の場合：「開通のご案内」に記載の問い合わせ先へお問い合わせください。
 - ・光コラボレーション事業者様のサービスをご利用の場合：お申込みの光コラボレーション事業者様へお問い合わせください。
- NTT西日本エリア (東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区) でご利用のお客様
 - ・NTT西日本の提供する「フレッツ光」をご利用の場合：「開通のご案内」に記載の問い合わせ先へお問い合わせください。
 - ・光コラボレーション事業者様のサービスをご利用の場合：お申込の光コラボレーション事業者様へお問い合わせください。